

国際ロータリー会長
ジョン ケニー
地区ガバナー
植木 康之



三条北ロータリークラブ週報

例会日 2010. 5. 25 累計 No.1130 当年 No.41

三条北RC
会長 石川 勝行
幹事 早川 瀧雄
SAA 岡田 健

例会日: 火曜日 12:30 ~ 13:30
例会場: 三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114
事務局: 三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488
ホームページ: <http://www.sanjo-nrc.org>
メールアドレス: north@sanjo-nrc.org

本日の出席: 71名中34名
先々週の出席率:
71名中60名84. 51%
(前年同期77. 94%)

本日の行事:
「地区協議会報告会」



先週のメークアップ:(敬称略)
5月11日室蘭北RCへ

刈岡 茂
20日燕RCへ青柳康博
22日地区協議会(上越)
小林繁男、西村 護
斎藤 正、佐藤弘志
落合益夫、石川友意
青柳康博、米山キクエ
梨木建夫、大野新吉
中條耕二、木宮 隆
24日家庭会合①
外山晴一、中條耕二
山中 正、山上茂夫、
梨木建夫、横田加代子
笹原壯玄、大野新吉
青柳康博、駒形 実
丸山 勝、今井克義
本間建雄美、坂内康男
高森武志、岡田 健
小林繁男、西村 護

本日のメニュー: 732 kcal
ミネストローネスープ 120
炒め鳥のサラダ 144
鯖の生姜風味ソース 205
ライス 168
白桃ムースケーキとフルーツ 95

会長挨拶

石川 勝行会長



本日は、地区協議会の報告会です。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。
米フォードの幹部は「近い将来、最大のライバルはグーグルになる。」と。グーグルは電気自動車とつなぐ充電器の周辺で技術開発や M&A を繰り返し、世界標準を作ろうとしていると、新聞は伝えています。自動車大手が懸念するのは「ドライバーが発する情報がグーグルに吸い上げられる。」という危機感が強いそうです。今後やはり情報 IT がますます重要になるものと思われます。
皆さん、今日は5月の最終例会日です。ロータリーの年度末が6月末です。あと一ヶ月となりました。皆さんのおかげで、会長としての責任 (Responsibility) も無事終了しそうです。ところで、決算月という、決算会計報告が思い浮かびます。英語では、決算公開を「Open」と言わずに「Disclose」といいます。「Close(閉じる)」を無理に開かせるということになります。また、特に会計の責任を「Accountability」とし一般の責任「Responsibility」と分け特別扱いにしています。日本は責任はあくまで「責任」ですが、アングロサクソンとは感覚が大分違うな一という感じであります。しかし、どこまでデスクローズするかは、国々の意向(思惑)が見え隠れしてます。
情報が一部等であると、おかしいと疑い、まさか、自分だけは違うとか疑心暗鬼になります。そういう意味で、今後、IT等の発展はうまくいくと情報公開等にとっても素晴らしいものになると思われます。
三条北ロータリークラブには、いろんな人、いろんな業種の人があります。IT等に強い人もいます。将来性もあります。いろんな情報もあります。すばらしい仲間たちです。会長も小林さんに変わります。相当積極的になります。会長になって北ロータリークラブは更に楽しく良いものになるでしょう。会員であれば誰でも会長になれます。やる気を持った仲間たちがたくさんいる特色ある三条北ロータリークラブに入って良かったと思いたいではありませんか。いかがでしょうか。

幹事報告

早川瀧雄幹事

・東山ガバナーより 地区協議会参加の御礼

ニコニコBOX:25日現在累計960,000円

星野 義男君 斎藤さんに報告して頂くことになりました。私が出席しなくて申しわけありません。
斎藤 正君 報告後早退させていただきますので
淵岡 茂君 踝捻挫で1年半、ゴルフから遠ざかっていました。久しぶりのゴルフでしたがドライバーショットは良かったです。
山上 茂夫君 昨日は家庭会合で大野さんの奥様やお孫さん達と楽しい交流が出来ました。これが家庭会合の意義です。会議の中味もハイレベルな中條さんのお話もあり鮮明に頭の中に残りました。皆様に感謝いたします。
佐藤 義英君 ニコニコBOXよろしくお祈いします!!
高森 武志君 5月15日に愚息が結婚いたしました。我がクラブからも祝電を頂きありがとうございます。新郎新婦が企画し、新郎の父(私)がプロデュースした別名ジェットコースター披露宴も無事に終わり、今はホッとしています。随分お金も遣いましたのでまた頑張ります。本当は10口の気持ちですが、金欠にて5口ですm(_ _)m

米山奨学BOX

山崎 勲君 今日は出席者が少なく、今年度初めてBOXは私だけでした。

本日の行事

「2010-2011 R I 第 2560 地区協議会報告会」

期日：2010年5月22日(土)

会場：デュオ・セレッソ(上越市)



西村 護幹事

市内4RCが市役所前に集合し、2台のバスに分乗して午前7時30分に出発。

9時20分頃協議会会場のデュオ・セレッソに到着

10時より2010-2011年度国際ロータリー第2560地区 地区協議会が始まりました。地区協議会は

10:00~11:30 全体会議(午前の部)

開会宣言・開会点鐘

国歌と奉仕の理想斉唱

ロータリー綱領朗読の後に参加者による握手

植木康之ガバナー挨拶

出席者の紹介

東山昕也ガバナーエレクトの挨拶

「入って学び、出でて奉仕せよ」と6ヶ国語で掲げてある国際協議会の出席報告

2010-2011年度国際ロータリー

レイ・クリンギンスミスRI会長方針説明

RI会長のテーマ

『地域を育み、大陸をつなぐ』を発表

○クラブ奉仕、職業奉仕…

人生を謳歌し、善き市民となる

○社会奉仕、職業奉仕……地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にする

○国際奉仕、青少年奉仕…世界を平和で住みやすいより良い場所にする。

新しいエネルギーを求めています。

共に実行したいことは、充実したクラブとして

「ロータリーを楽しむ」ことであり

「地域社会に貢献」して「地域という一つの仲間で大陸をつなぐ」ということです。

と、プロジェクターを使用し国際協議会の出席報告が説明されました。

新年度東山昕也地区ガバナーエレクト運営方針について説明

『地区テーマ「友絆」…地域とともに』

と、基本方針の説明がありました。

地区資金委員より新年度地区予算の発表

11:30~12:30 基調講演

講師…国際ロータリー第2830地区PG

関場慶博(せきば よしひろ)氏

テーマ「ロータリー 明日のために!」

ロータリー活動の歴史を

1905 → 1930 → 1955 → 1980

(創始期) (受難期) (拡大期)

→ 2005 → 現在 → 未来

(発展期) (変革期) (ルネッサンス期)

に例えて説明されました。

講師は医学博士であり弘前ロータリークラブ入会前に体験された、アフリカ・ガーナ国での医療活動の体験を話されました。その後にロータリークラブに入会され、職業を通してアフリカやインドでのポリオの実体験の話がされました。

医師として「今の現状ではポリオ撲滅は無理」だと話されましたが、限りなく0にして行かなくてはならないと言われていました。

基調講演に続いて、中條耕二地区代表議員(PG)による規定審議会報告

12:30～13:10 昼食

13:10～14:45 セッション

(第1～第7に分かれて)

第1セッション…会長・幹事

第2セッション…クラブ奉仕・広報委員会
会員増強・拡大委員会

第3セッション…職業奉仕委員会
社会奉仕委員会

第4セッション…国際奉仕委員会

第5セッション…新世代奉仕委員会

第6セッション…ロータリー財団委員会

第7セッション…米山記念奨学委員会

15:15～16:00 東京大学博士課程在籍中の
米山学友の卓話

講師…第2750地区 東京広尾RC

張旭梅(ちょう きょくばい)氏

テーマ「ロータリーとの出会いが人生を
変えた」

16:00～17:00 全体会議(午後の部)

各リーダーによる各セッション発表

馬場信彦次年度地区研修リーダーによる講評

地区大会実行委員長による地区大会の説明

11月20日(土) 12:00～19:30 予定

会場：デュオセレッソ

各クラブ会長・幹事・R財団委員長・

米山記念奨学委員長会議

RI会長代理歓迎晩餐会

2日目 9:00～18:00 予定

11月21日(日) 9:00～18:00 予定

会場：リージョンプラザ上越

地区大会本会議：記念講演

講師…浜田和幸氏(国際政治経済学者)

国際未来科学研究所所長

ロータリー親睦交流会

記念ゴルフ大会の説明

10月14日(木) 会場：松峰C.C

8:00スタート(参加予定者数150～180名)

17:00～18:25 懇親会

オープニングはR財団奨学生でイタリアに留学された横田聡子さんのソプラノ独唱が終わると、東山昕也ガバナーエレクトの懇親会挨拶の後、植木康之ガバナーの乾杯で懇親会が始まりました。

アトラクションは小竹勇山夫婦と子供による
替女歌と三味線演奏

18:25 ロータリーソング「手に手つないで」

参加者同士が手をつないで会場内をまわり、歌が終わると閉宴の挨拶で終了。

18時30分に迎えのバスに乗り三条へ帰途。

20時15分頃に三条市役所に着いた。

バスの中はお疲れモードで寝ている人や外が暗くなればなる程元気になる人様々でした。

地区協議会参加者の皆様一日お疲れ様でした。

第1セッション…会長・幹事

1. 2010-11年度 地区運営方針

○クラブ会長要覧、国際ロータリーの目的は、あくまでクラブとクラブを支援し、地区を支援する。

○各クラブの会長がリーダーとなって、自主的にクラブ運営をする。

○クラブが目指す目標をもう一度原点に戻り、クラブ活性化の方策を会員全員で検討し、クラブの実情に応じてより高いレベルの奉仕活動を目指すよう希望する。

○知恵と工夫で楽しいロータリークラブづくりに協力。

2. 2010-11年度のRI会長の強調事項

①平和と紛争予防と紛争解決

②疾病予防と治療

③水と衛生

④母子の健康

⑤基本的教育と識字率向上

⑥経済と地域社会の発展

ポリオの撲滅(ロータリーの最優先事項)

青少年奉仕プログラム

(青少年への支援)…五大奉仕事業

3. ロータリーの情報提供、退会防止

会員増強最重要課題

会長方針…各クラブ会員の純増1名

14～15年前は13万人→今現在は9万人に減少

4. RI会長賞にチャレンジしてください。

5. ホームページの利用方法について

○国際ロータリー第2560地区ホームページに各クラブの事業を毎月書込む。

○クラブのインターネット化(月新・週報等のペーパーレス化)

6. 地区資金について

地区資金の上半期一般会計及び特別会計の7月末までの送金お願い。

7. 2010-13年度の新長期計画について

○クラブの管理運営の円滑な目標達成のため新長期計画を作成し達成年度を明記し、年度末に確認して次年度に引き継いでいく。

○新長期計画推進資金の説明

・1クラブ→50,000円支給

・長期計画書を9月末日までに提出

・新長期計画推進資金はアシスタントガバナーの指導による長期目標設定プログラムの作成に参加しないクラブには支給はありません。

第2セッションに参加して
クラブ奉仕B 斎藤 正委員長



クラブ奉仕・広報委員会
会員増強拡大委員会・クラブ活
性化委員会、5委員会合同での
勉強会でした。

- 会員増強・拡大委員会では
 - ・既存会員の退会防止
 - ・期末に期首対純増1名を
目標

- クラブ活性化委員会
 - ・例会出席の高揚
 - ・委員会の活性化
 - ・クラブステータスアップ
 - ・クラブリーダーシッププラン（CLP）の
活用促進
 - ・20人以下のクラブへの情報支援や実質支援
（会員紹介等）
- 広報
 - ・HPだけでなく地域のメディアへの積極的
PRの推進

それぞれ委員会に於ける一年間の活動、取り組
みについての目標が掲げられましたが、会員減少
に歯止めのかからない現況を乗り越えどのよう
にして会員増に結びつけてゆくか、が焦点にな
っていました。絶対的な方策がないだけに会員
一人ひとりの会員増強の意識の高揚に努め
るようにクラブ全体で検討の必要性を感じま
した。

参考までに会員数の推移を日本のロータリー
会員数、第2560地区の会員数で見ますと
日本のロータリー会員数

	クラブ数	会員数
1996年6月末	2,208	131,477
2009年6月末	2,304	94,976
12年連続減少	-36	501名
第2560地区会員数		
2001年6月	56	2,475
2009年6月	57	2,087
8年連続減少	-3	88名

連続で会員数が減少しているわけですが、何と
かストップをかけないとロータリークラブと
しての活動や奉仕の充実に影響を及ぼし、更
に今後一層社会から求められるニーズに応じた
奉仕が拡大されることが予想されるだけに独
りでも多くの仲間の必要性を痛感した一日で
した。



「地区協議会で感じた事、思った事」
ロータリー財団梨木建夫委員長



まず最初に「地区協議会」
といえは数年前の中條ガバ
ナー時代に地区協議会の実
行委員長を仰せつかった頃
の事を思い出します。今回
の会場は「デュオ・セレッ
ソ」の3F「セレッソホー
ル」で開催されました。ま

まず一步会場に踏み入った瞬間「大きいな〜」
という思いとゴージャスで重厚感溢れる造り
にはしばし圧倒されました。素晴らしいモノ
でしたが、私共の時代には700名以上という
来客の多さで会場に入りきれずロビーや廊下
にまでテーブルを用意してもらいました。そ
れでも我々北クラブの仲間は座りきれず
モニターテレビで入り口のロビーで待機し
てもらい、皆様に窮屈な思いをさせてしま
ったものです。又基調講演の講師として関
場先生がなされましたが、我々の時も
同じ関場先生に基調講演をもらい、何か
因縁めいたものを感じました。午後にな
り各セッションに分かれての勉強会にな
りましたが第6セッションのロータリー
財団委員会は同じ建物の2Fに会場が移
ただけで済み楽でしたが、外に出て他の
建物に歩いて移ったセッションもあつた
ようです。第6セッションの財団大委員
長は我がクラブの中條パストガバナー
で大変心強い思いでありました。会場
ではアドバイザーとして出席されて
いたようです。財団の委員会の内容は
なかなか難しい言葉ばかりで十二分に
把握できていないもので、11月の財
団月間までには、よく勉強して理解し、
皆様に説明できるようにします。今暫く
お待ち下さい。何はともあれ私は広報、
週報担当ということもあり、もっぱら
カメラを握って会場のあちこちで写真
を撮りまくりました。我がクラブの会
員ばかりでなく、色々な方々を撮った
のですが、その都度、後で出来たら送
って下さいと言われて簡単に返事を「
OK」と言ってしまう、クラブ名や
個人名も聞かなかった事を後悔して
います。



「地区協議会に出席して」

米山奨学青柳康博副委員長



三条北RCより12名出席し、私もその中の1名として出席の機会を与えていただきました。バスで1時間半余り。意外と上越市との関係も少なく10年以上は来ていないなど思いながら眺めて居たところ、

高田駅が大変綺麗に整備され、廻りの建物も新築、改築され、活気を呈しており、上越市の発展ぶりを伺えました。おそらくロータリアンが大きく貢献されているだろうと想像出来ました。

会場のディオセレッソも立派な建物でスタッフのスマートな対応も会場に相応しいと感じました。午前の基調講演は「RIの現状とこれからのロータリー」と題し関場慶博氏でした。ロータリー活動の歴史から今後の展望、そして今こそロータリー活動の原点に帰る事が大きくクローズアップされ、その意義が一層増していると強調され会員の活動に期待していると締められました。

午後は第4セッション国際奉仕委員会に出席いたしました。

各地区においてより多くのメンバーを募り他国のロータリアンとの絆を一層深めると共に国際理解を推進しながら広く世界社会奉仕に寄与するという基調講演に基づくものでした。今回、出席させていただくことは私には荷が重いモノでしたが、改めて社会奉仕というものを考えさせられました。

今回のこの機会を与えていただいたことに心より感謝申し上げます。

拙い報告ですがお許し下さい。ありがとうございました。

新世代奉仕・ライラ米山キクエ委員長



5月22日地区協議会に参加をしてきました。

私は分科会では第五セッションの新世代奉仕委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、ライラ委員会、に出席致しました。

横山パストガバナーをアドバイザーに迎え、委員会の方針と事業予定について協議しました。先日中條パストガバナーが規定審議会報告でお話されておりましたように青少年奉仕が四代奉仕に加わり五大奉仕になりました。RI会長は青少年奉仕プログラムに対する地区の取り組み強化を最優先項目のひとつに掲げています。

当地区でも従来より歴代ガバナーが新世代に関する各種プログラム計画を積極的に推進されてきましたが、諸々の事情によりインターアクト、ローターアクト共に会員数が減少傾向にあるそうです。そんな中、柏崎にインターアクトクラブが誕生白根は準備中であるとの事、これは朗報だと思います。

これから年次大会や研修等が予定されているので是非登録参加をして頂き地域の新世代育成に協力願いたいとの事でした。

私はライラ研修の事業計画をととても楽しみにしていました。研修地が陸上自衛隊新発田駐屯地だったからです。北朝鮮の事件や普天間の問題など防衛に対して非常に関心が高いこの時期に的を得ていると感じていました。ところが自衛隊の都合でこの計画は中止になってしまいました。メンバーの中から日時を変えて再検討出来ないものかとの質問もありましたが無理なようです。改めて計画し7月初旬に案内するとの事でした。計画は確実にしてから発表してほしいと思いました。





6月のお祝い

誕生日

会 員

淵岡 茂	2
本田 芳久	3
本間建雄美	9
石川 勝行	1 3
柄沢 憲司	2 5
佐藤 弘志	2 6
高橋 研一	2 8

配偶者

坂本 敏子	7
山上 和子	1 3
吉田由美子	1 3
白倉 満江	1 6
阿部 藤男	2 5
佐藤 君子	2 8

結婚記念日

岡田 健・美代子	6
山本 賢・みちこ	1 2

会員の声

山本 賢

患者のことを昔は「くすし」薬師と言いました。
 薬のさじ加減をする人という意味でしょうか。
 病気を治すのは医者ではなく、薬だという考えに近いのでしょう。
 実際、頭痛のする時は頓服を飲むと、スーツと治ってしまう。
 胸やけには胃散を飲むと途端に気持ちがさっぱりする。薬は有難いものです。
 もともと日本人は薬好きの国民のようです。
 診察して患者さんに「薬はいりませんよ」と言うのがっかりした顔つきをします。
 長い時間をかけて様態を聞き、正しい診断を下しても、たいした有難そうな顔をしません。このような医療本来の仕事の恩恵よりも、効くか効かないかが定かでもなく、とにかく薬を貰うことの方が格段必要な事と思っているようです。
 昔から医師を「くすし」と言った伝統があり漢方医学でいう「証」は症状と薬を直接結びつけ、病医学的分析の段階を飛び越えた体質を持っていたことも、日本人をこのような薬主義者に仕立て上げた原因かもしれません。
 日々の診察の中で感じているところに触れてみましたが、参考になりましたでしょうか。

地区協議会お疲れ様でした。

